

# 委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

## 総務財政委員会

### 本庁機能集約等の検討経過について

秋田県横手市は、平成17年10月に8市町村が合併し、秋田県第2の都市として誕生した自治体です。

現在、本庁機能が10庁舎に分散されているため、本庁機能の集約等の検討を行っており、職員の移動時間に関する人件費や移動に要する公用車の燃料費等が1年間で約1千300万円のコスト削減が図れると試算されています。

また、市民委員100人からなる「新庁舎を考える市民会議」で新庁舎建設を含む庁舎のあり方の協議や、住民意識調査、さらには庁内の職員プロジェクトチームで、行政組織機構のあり方の検討がなされています。



説明を受ける委員

## 民生文教委員会

### 独自の教育施策

本委員会では、北海道三笠市を視察しました。

三笠市は、北海道の中央部に位置し、嘉麻市と同じく炭鉱により栄えた人口約1万1千人の市で、特に教育施策に力を入れています。

主な施策としては、平成17年度から一部の小学校で、小中一貫教育の特

区を導入し、学年区分を6・3制から9年間を見通した3つに区分し、小学校1年生から年25〜35時間の英語教育を実施するなど無理のない教育課程を組んでいます。

また、本市同様、厳しい財政状況の中、行財政改革を推進する一方で、少子化によつて学校の統廃合が行われ、廃校となった中学校を利用して、美術館とするなど、特色ある施策が展開されています。

## 産業建設委員会

### 自然公園整備計画の取り組み

豊田市足助町あすけには、12世紀頃築城された足助城跡があり、平成2〜4年度に城跡公園足助城の整備を行っています。

整備の主な内容としては、県の補助事業を活用し、整備期間3年、整備面積1万5千㎡、総事業費約5億4千万円であり、本丸、物見矢倉などの7

施設を建築しています。

また、足助町には、この足助城をはじめ、古い街並みや紅葉の名所である香嵐渓もあり、県外から多くの観光客が訪れ、地域活性化の一役を担っています。

この視察を通して、現在、本市で取り組んでいる自然公園整備の計画を十分検討し、地域活性化を図る事業として取り組む必要があると強く感じました。



整備されている足助城



廃校を利用したミカサモダンアートミュージアム